

## **1. 開催日時・出席者等**

- 日時：平成 31 年 1 月 23 日（水）15:00～16:20
- 場所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル ナレッジサロン（大阪府大阪市）
- Pitch テーマ：官民が連携して構築する Tech 系スタートアップエコシステムの展望
- 招へい者：別紙参照
- 出席者：平井国務大臣  
石井企画官（科技）  
寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

## **2. 招へい者からの説明**

- マイクロ波を用いた化学製品製造プロセスや、節水洗浄ノズル、体験型 DIY ショップ、駐車場予約アプリ、ダイレクトリクルーティングサービス、遠隔医療サービス、科学技術の情報発信コンテンツ制作など、多種多様な事業を展開するスタートアップが存在する。
- 大学の技術を活用しているケースもあれば、家業の経営資源を活用して新たなビジネスに挑戦するベンチャー型事業承継を果たしているケースもあり、各社のバックボーンは様々である。
- 行政もスタートアップの支援を行っているほか、うめきた地区の大阪イノベーションハブやナレッジキャピタルにスタートアップとその支援者が集積しており、イベント等も多数開催されるなど、大阪を中心に関西のスタートアップエコシステムも盛り上がっている。

## **3. 質疑応答・議論**

以下の意見・提言があった。

- 一番困っているのは人材の確保。流動化して、大企業や大学、スタートアップなど、いろんな組織を行き来するようになることが好ましいと思う。
- 自分たちで物を作り、壊れたら直すという文化を日本でも広げるため、学校教育で DIY を体験できるようにしてほしい。
- シェアリングサービスを行うに際し、空きスペース活用時の固定資産税の減免措置を適用するか否かについて、明確なルールがなく、担当の裁量に委ねられてしまっている

ため、自治体によって判断が異なることがある。これを解決してほしい。

- 特許やノウハウ等の無形資産が、会計上、資産とは認められていないため、調達等において不利になってしまう。これを解決してほしい。
- オンライン診療を進める上で、初診では認められないという壁があるため、サンドボックス制度の活用などによって解決してほしい。
- イノベーションを起こすためには、デザイン思考が重要だが、日本では表面的でカッコイイものというイメージが強く、使いこなしている人を見かけない。シンガポール大学が全学生に学ばせているように、日本でも教育の中に取り入れてほしい。

(了)

